

内谷市長の

## ゆるやか「コラム」

## 「若者のアイデアを

まちづくりりに生かす」



今年はずっと平年並みの雪が降り、雪国らしい冬となりました。幸い長井市では、今のところ大きな雪害や事故は発生しておりません。一方、青森県では災害級の大雪による被害が発生し、庄内・最上地方では昨年の記録的大雨による被害の復旧・復興がまだ続いています。長井市でも令和4年に豪雨災害がありましたが、季節に関わらず災害が発生する中で、平時の時こそ有事への備えを改めて行っていた、だいたいと思います。

さて、2月1日にながい雪灯り回廊まつりが開催されます。このお祭りは、もともと市民の方々の手作りで始まり、また、中央地区の商店街の皆さんが、外に出て楽しむ機会が少ない冬に、まちなかを元気にしようとしたことがきっかけで、今年で22回目を迎えます。皆様にご協力いただきながら、冬の長井を代表する素晴らしいお祭りとなりました。今回は昨年を引き続き、市内で働く外国人の方々のご当地料理が楽しめる企画も開催されますので、まちな

出て地域を盛り上げながら冬を楽しんでいただきたいと思います。

22日には、長井の未来を育む少年会議の発表会が開催されます。長井市まちづくり少年会議を改め、中高生の代表者によるグループワークや発表会などを行う少年会議となり、3回目を迎えます。発表会では、市内中高生16人が4チームに分かれ、長井市の未来につながる提案を発表します。どんな提案があるのか大変楽しみです。昨年度の提案は、市制施行70周年記念事業で様々なイベントにおいて、中高生たちが市や商店街の皆さんと共に実践いたしました。若者の力をまちづくりに生かし、若者が望むこれからのまちづくりに協力していきたいと思っております。当日はどなたでも傍聴できますので、市民の皆様もぜひ市議会議場にお越しいただき、中高生の発表をお聞きください。